令和２年度第１回西脇市障害者地域支援協議会（書面会議）の結果報告について

１　会議の成立

全ての委員（15名）から書面の提出がありましたので、過半数以上の出席（書面提出者を出席者とみなす）を満たす結果となり、会議が成立したことを報告いたします。

２　協議結果

⑴　次第３：会長・副会長の選出について

委員の投票と事務局一任により下記のとおり選出・承認されました。

会　長：藤本　次郎　委員

副会長：南　　久雄　委員

⑵　次第４：報告事項

ア　第５期西脇市障害福祉計画の進捗状況

【質問】（回答は第２回会議で予定しております。）

○Ｐ．４：市で雇用されている障害者のうち、知的障害者が１名しかおられない理由がありますか？

○Ｐ．７：日中活動系サービスのうち、就労継続支援Ｂ型と短期入所以外のサービスが計画値に到達していない特別な理由がありますか？

【意見】

○Ｐ．９：排せつ管理支援用具のカウント方法の変更が※で示されているところですか？（ちょっとわかりにくい印象です。）

⇒カウント方法の変更は※の部分です。

わかりやすい表記への改善を検討いたします。

○地域生活支援の体制整備と相談センター開設に向けた着実な取組を評価します。一般就労移行については、焦らず取り組む必要があると思います。事後観察支援が大切と思います。

○Ｐ．１：⑵精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神科病院からの地域生活移行について居宅介護等のサービスを利用する場合、相談支援の体制が不足するのではないかと思われる。Ｐ．８のサービス利用作成数も年々増加傾向にある。

○Ｐ．３：一般就労移行者数
市内に就労支援事業所がなくなったので、Ｂ型からの就職が進んでいることは良いこと。
労働では20時間未満の障害者を雇用する企業に特別給付金を創設。Ｂ型と企業の短時間労働を併用した段階的な一般就労への移行ニーズが増えると予測される。

○Ｐ．４：市における障害者の雇用
雇用人数だけでなく、雇用率も掲載してはどうか。
⇒改善し、掲載を検討いたします。

○グループホームが市内で初めて出来た。助成金も予算化され、念願であったことが実現した。入居者も７月満室になる予定です。

○西脇市においても、幼少期～青少年期～青年期へと支援をつないでいけるよう教育と福祉の連携を進めていく必要があると思います。幼児教育センター、青少年センターにはそのような機能は充実していません。教育と福祉の総合的見地から、さらに施策を推進され、市の障害福祉の充実に向けて取り組んでいただくように希望します。

⑶　次第５：協議事項

ア　第６期西脇市障害者福祉計画・第２期西脇市障害児福祉計画の策定について
承認　15名（委員全員）

イ　西脇市障害者基幹相談支援センターの開設について
承認　15名（委員全員）

３　その他（質問・意見）

【質問】（回答は第２回会議で予定しております。）

○基幹相談支援センターの選定までの日程がタイトのように感じますが、見通しはあるのでしょうか。

【意見】

○利用者が相談しやすい環境づくりがむずかしいと思います。訪問等も充実した取り組みができるよう努力がいると思います。

【意見】

○いつもお世話になっております。第５期西脇市障害者福祉計画について、地域生活拠点等の体制や整備を推進する事業の重点課題で、グループホーム開設支援が出来た為、長年念願であったグループホームが実現できたこと、とても有難く思っています。
今後、障害者の自立や親亡き後の不安が解消されることを願っています。住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせることを願って、これからも福祉の場でも取り組んでいきたいと思います。

○西脇市障害者基幹相談支援センターが新市庁舎内に設立されることは、とてもよいことだと思う。願わくば、センター併設の居場所作りとなる場を設置してもらい、相談が気楽に行える、また相談の潜在的ニーズを見つけるようにして欲しい。

○委員として、微力ながら、職責を果たしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。